

長崎外国語大学の留学生との交流！

12月1日（金）、18:00より長崎外国語大学のアンペロス寮にて、本校生徒7名（1年生3名・2年生4名）と長崎外国語大学の留学生9名が交流会を持ちました。長崎外国語大学のクマー先生の指導のもと、まずはお互いのことを英語で質問し、場の雰囲気英語でディスカッションをする空間に一変させてもらいました。

その後、1・2年生がそれぞれの課題研究のテーマに関するインタビューを行いました。生徒たちは、自分たちとは違う文化背景や考え方を持っている留学生に英語で意思疎通を図っていました。留学生達も非常に協力的で、生徒達の質問に答えるだけでなく、関連する事柄についても本校の生徒達に話をしてくれました。今回のインタビューを通して、生徒達は英語でコミュニケーションをとることを楽しみながらも、課題研究の内容をより深めることができたようです。



中国高校生訪日団との学校交流！



12月8日（金）の午後、国際科2年生の生徒たちが、「JENESYS2017」2017年度中国高校生訪日団第4陣と学校交流を実施しました。正午頃に到着した一団とまずは昼食を摂りながらの交流が始まりました。最初は緊張感が漂っていましたが、すぐに会場内には話し声や笑い声が響き始め、日中どちらの高校生にも笑顔があふれていました。5時から7校時は、中国の高校生たちには国際科の授業に参加してもらいました。現代文ではお互いに自己紹介をする機会があり、また物理や生物の授業ではそれぞれいっしょに実験を行いましたGS IIの授業では、課題研究の紹介をしました。コミュニケーションは英語で行いましたが、中国の高校生たちが流暢に英語を話す姿には、国際科の生徒たちは圧倒

されていたようです。また、どの授業でも、中国の高校生たちは積極的で、わからないことがあると臆せずに質問をしていました。その姿にも国際科の生徒たちは圧倒されていたようで、「あの積極性は見習わなければ」との声が多く聞かれました。また、「中国についてはあまりいいイメージを持っていなかったけど、今日の交流を通してイメージが変わった。また会いたい」という感想も聞かれ、私たちの近くにある国への理解が一層深まったようです。「あっという間の時間だった。もっと長く交流したかった」という声が多く聞かれましたが、互いの絆を深めるには十分な交流ができました。国際科生徒の国際交流の輪が一回り大きくなったことを実感することができました。

